

I N D E X

宝グループ概要	1
社長メッセージ	2
特集	3
TOPICS	4
業績ハイライト	5
会社情報	6



株主のみなさまへ

第108期 報告書

2018年4月1日～2019年3月31日



宝ホールディングス

グループ全体の事業成長と企業価値向上を目指す

グループ経営基盤の強化／風土・人材育成／社会・環境行動の推進

宝グループ中期経営計画2019

(2018年3月期～2020年3月期)

基本方針

海外売上高比率をさらに高めるとともに、国内外で抜け・モレのない商品と競争優位性をもった商品を多数もつことで、他社に勝てる分野を数多く築き上げ、どんな環境変化が起ころうとも収益を大きく伸長させることができるバランスのとれた事業基盤を確立する。

事業戦略

宝酒造

清酒を中心に各カテゴリーの売上高を拡大するとともに、利益率を向上させ、国内の酒類・調味料市場で和酒 No.1 メーカーとしての確固たるポジションを確立する。

宝酒造 インター ナショナル グループ

日本食材卸網の拡充により事業規模を飛躍的に拡大するとともに、事業基盤の整備を進め、世界の和酒・和食市場におけるリーディングカンパニーに向けて地歩を固める。

タカラバイオ グループ

「バイオ産業支援」「遺伝子医療」の両事業の部門戦略の推進とこれを支える経営基盤を強化し、グローバル企業かつ再生医療等製品企業としてのプレゼンスを向上させ、飛躍的な成長を目指す。

財務方針

健全な財務体質を維持しながら、成長投資を行うとともに、適切な株主還元を実施することによってROEを向上させ、適正な株価水準を実現する。



宝酒造(国内事業)

売上構成比
55.0%

国内酒類・調味料・酒精事業



技術に裏付けられた
安全・安心な商品を提供する



主な
事業内容

焼酎、清酒、
ソフトアルコール飲料、本みりん、
食品調味料、原料用アルコール
などの製造・販売



宝酒造インターナショナル グループ(海外事業)

売上構成比
28.1%

海外酒類事業／
海外日本食材卸事業



和酒・和食を通じて
日本の食文化を世界に広める



主な
事業内容

酒類・調味料などの輸出および
海外子会社での製造販売、
海外の日本食材卸子会社における
酒類・食品などの輸入・販売



タカラバイオグループ (バイオ事業)

売上構成比
12.9%

バイオ産業支援事業／
遺伝子医療事業



遺伝子治療などの革新的な
バイオ技術の開発を通じて
人々の健康に貢献する



主な
事業内容

研究用試薬・理化学機器の
開発・製造・販売、受託サービス
遺伝子治療薬の商業化



株主のみなさまにおかれましては、平素より格別のご高配を
たまり厚くお礼申し上げます。

ここに、第108期(2018年4月1日から2019年3月31日まで)
の宝グループの事業の概況などについてご報告申し上げます。

当期の業績概況

当期(2019年3月期)の業績につきましては、宝酒造、宝
酒造インターナショナルグループが好調に推移したこと
に加え、タカラバイオグループにおいても遺伝子治療薬に関する
共同開発・独占販売契約にかかる対価料の受領などがあり、
3つの主要事業セグメントのすべてで増収増益となりました。

この結果、連結売上高は277,443百万円(前期比3.5%
増)となり、また利益面についても、売上高の増加に伴う売
上総利益の増加により営業利益は17,804百万円(前期比
14.0%増)、経常利益は18,359百万円(前期比14.1%増)
と、いずれも過去最高となりました。

一方、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、
前期に計上した関係会社株式売却益の反動により特別利益
が減少し、10,411百万円(前期比5.6%減)となりました。
(セグメント別の売上高、営業利益は、5ページをご覧ください。)

当期の配当につきましては、配当総額の税引後営業利益
に対する比率を「みなし配当性向※」として30%を目安に配当
する方針に基づき、前期から2円の増配となる、1株当たり
18円とさせていただきます。また次期(2020年3月期)
の配当につきましては、2円増配となる1株当たり20円を
予想しております。

※ みなし配当性向=配当総額/(連結営業利益×(1-法定実効税率))≒30%

「宝グループ中期経営計画2019」の進捗状況

当社グループでは、2011年4月に策定した10年間の長期
経営ビジョン「宝グループ・ビジョン2020」の実現へ向け、
2017年4月から2019年度(2020年3月期)を最終年度と
する3ヵ年の中期経営計画「宝グループ中期経営計画2019」
をスタートさせております。本中計では、「海外売上高比率を
さらに高めるとともに、国内外で抜け・モレのない商品と競争
優位性をもった商品を多数もつことで、他社に勝てる分野
を数多く築き上げ、どんな環境変化が起ころうとも収益を
大きく伸長させることができるバランスのとれた事業基盤を
確立する」ことを基本方針に、取り組みを進めています。

中計2年目の当期は、各セグメントにおいて事業戦略を
着実に推進するとともに、国内では成長著しい缶入りチュー
ハイ市場に向けた生産ラインの増強、海外では日本食材卸
事業の物流機能の拡充、バイオ事業ではCDMO事業拡大の
ための新施設の建設など、将来に向けた成長投資にも注力
しました。

中計最終年度となる次期の連結業績は、売上高290,000
百万円(前期比4.5%増)、営業利益19,000百万円(前期比
6.7%増)、経常利益19,500百万円(前期比6.2%増)、親
会社株主に帰属する当期純利益10,700百万円(前期比2.8%
増)の増収増益を見込んでおり、3つの主要事業セグメント
のすべてで増収増益、また海外売上高比率は36%となる
計画です。

売上高は、事業ポートフォリオの見直しにより当期に健康
食品事業とキノコ事業を譲渡した影響から、中計の定量目標
である295,000百万円に未達となりますが、営業利益と
海外売上高比率は定量目標を上回る見通しです。



企業価値向上に向けて

当社グループは、技術に裏付けられた安全・安心な商品や
サービスを世界中にお届けするとともに、医療の進歩に寄与
し、世界の人々の暮らしを豊かなものにしていくことで、社会
的価値を創造し、持続可能な社会の発展に貢献してまいり
たいと考えています。

株主のみなさまにおかれましては、引き続き当社グループ
への温かいご支援をたまりますよう、なにとぞよろしくお願い
申し上げます。

2019年6月

代表取締役社長

木村 睦

清酒国内出荷数量 トップシェアを達成

清酒「松竹梅」を製造・販売する宝酒造は、2018年の清酒国内出荷数量において初の首位を獲得しました。宝酒造が「松竹梅」を発売したのは1933年。“よろこびの酒”をコンセプトに慶祝・贈答市場での地位確立を目指し、1970年には大人気俳優・石原裕次郎さんをイメージキャラクターに起用しました。1972年に「慶祝(よろこび)路線」をスタートさせ、飛躍的にシェアを拡大。そして1988年には渡哲也さんを新たな顔に迎え、慶祝路線をさらに強化してきました。

国内の清酒市場が1973年をピークに縮小しているなか、宝酒造は清酒の販売数量を順調に拡大しています。その最大の原動力は、2011年に発売したスパークリング清酒「滯」。アルコール分5%、ほのかな甘みとほどよい酸味を特長とする「滯」は、従来の清酒のイメージを一新したおいしさで若年層や女性の支持を着実に獲得してきました。

焼酎、本みりんに加え清酒の市場でもトップの座を獲得した宝酒造。これからも「和酒 No.1 メーカー」として、みなさまにおいしさとよろこびを届けていきます。

宝酒造の清酒 国内出荷数量推移

1933年
「松竹梅」ブランドを
発売



1972年
「松竹梅」
「慶祝(よろこび)」
路線スタート



2011年
スパークリング清酒
「滯」を発売



※ 日刊経済通信社公表値より当社推計



日本初の缶入りチューハイ 「タカラ can チューハイ」が発売 35 周年

宝酒造が1984年1月24日に発売した日本初の缶入りチューハイ「タカラ can チューハイ」が、今年で発売35周年を迎えました。

「タカラ can チューハイ」は、宮崎県にある宝酒造の焼酎蔵「黒壁蔵」で造られた樽貯蔵熟成酒やクリアな炭過水を使用した辛口のプレミアムチューハイとして、競争が激しいチューハイ市場において今なお多くのお客様に愛されているロングセラー商品です。

今回の35周年を記念して、発売当時のロゴデザインを模した復刻デザイン缶を限定新発売しました。当時販売されていたフレーバー〈プラム〉も数量限定で発売し、35年前の発売時当初の4フレーバーを揃えました。

さらに「タカラ can チューハイ」のおいしい飲み方やよく合うおつまみ、飲用シーンなどについて、お客様同士がウェブ上で自由に語り合えるコミュニティサイト「タカラ can チューハイコミュニティ」も開設しています。



タカラ can チューハイ復刻デザイン缶



「IWSC 2018」バーボンカテゴリーにおいて 「ブラントンゴールド」が金賞を受賞

宝酒造インターナショナルのグループ会社であるエイジ・インターナショナルが世界に向けて販売しているバーボンウイスキー「ブラントンゴールド」が、2018年の「インターナショナル・ワイン・アンド・スピリッツ・コンペティション(IWSC) 2018」のバーボンカテゴリーにおいて、最高賞の金賞を受賞しました。1969年にイギリスで創設されたIWSCは、世界で最も歴史と権威のある酒類コンペティションとして知られています。

また、同コンペティションにおいて、「ブラントン・ストレート・フロム・ザ・バレル」が銀賞(アウトスタンディング※)、「ブラントン」が銀賞をそれぞれ受賞しました。

※ 各賞において高い評価を獲得したものに与えられる称号。

IWSC2018 金賞受賞
「ブラントンゴールド」



腫瘍溶解性ウイルス C-REV の 国内製造販売承認申請を実施

タカラバイオは2019年3月、「腫瘍溶解性ウイルス※1 C-REV (一般名 canerpatrev、旧称 HF10)」の根治切除不能・転移

性メラノーマ※2を適応症とした再生医療等製品の製造販売承認申請を行いました。本申請は既存治療薬が無効または再発のメラノーマ患者を対象に実施された、イピリムマブ※3との併用療法の臨床試験結果に基づくもので、本適応症についてはタカラバイオが主導的に開発を実施しました。

タカラバイオは2016年12月に大塚製薬株式会社と日本国内におけるC-REVに関する独占的ライセンス契約を締結しており、本申請の承認取得後はタカラバイオが製造、大塚製薬が販売を担当します。

※1 正常な細胞内ではほとんど増殖せず、がん細胞内で特異的に増殖するウイルス。増殖により直接的にがん細胞を破壊する。

※2 皮膚に発生する悪性度が非常に高いがんの一種。悪性黒色腫とも呼ばれる。

※3 がん細胞を攻撃する細胞傷害性T細胞の、健康な細胞への攻撃を防ぐための抑制機能を解除し、抗腫瘍活性を増強する医薬品(免疫チェックポイント阻害剤)。

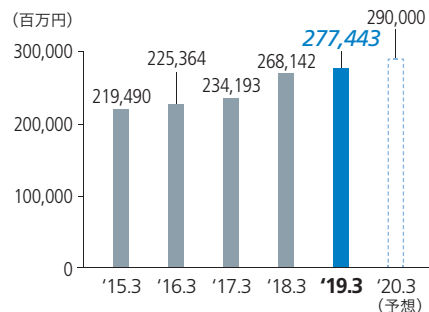
AMED「遺伝子・細胞治療研究 開発基盤事業」に参画

タカラバイオは、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)が実施する「遺伝子・細胞治療研究開発基盤事業」に参画しました。本事業は、先端的な遺伝子・細胞治療に必要なウイルスベクターの高度な大量製造や、安全性向上に関する技術開発をオールジャパン体制で目指すものです。

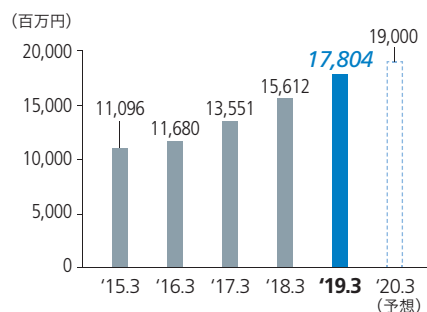
これにあわせて、本事業の技術開発拠点となる研究開発施設がタカラバイオの草津事業所地区に設置されます。これは本事業に参画する企業やアカデミアの保有技術の統合を目的とするもので、タカラバイオは施設の一部(鉄骨造2階建1階部分、床面積約1,000m²)を貸与します。

宝グループ連結

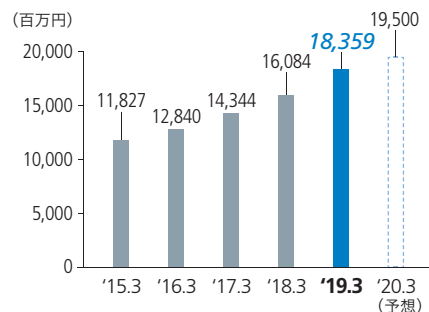
売上高



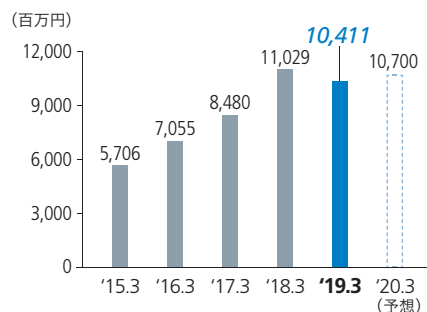
営業利益



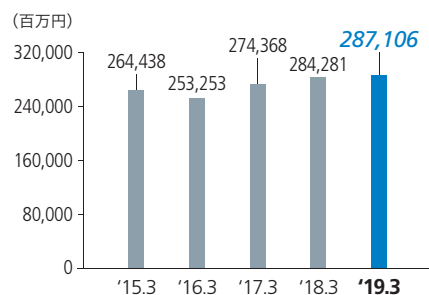
経常利益



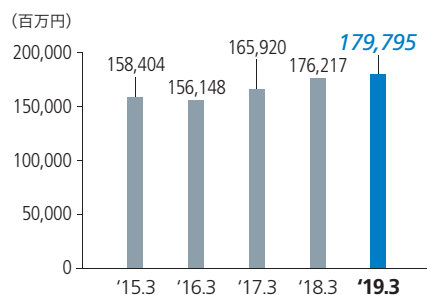
親会社株主に帰属する当期純利益



総資産

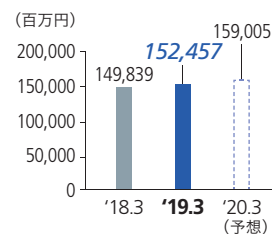


純資産

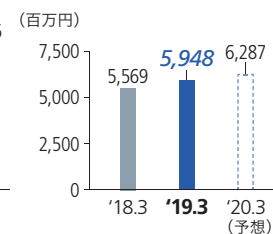


宝酒造

売上高



営業利益

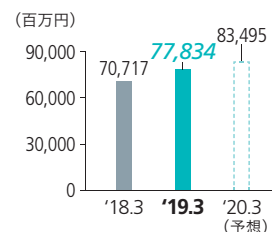


市場の縮小などの影響を受け、焼酎や清酒などが減収となったものの、“タカラ「焼酎ハイボール」”を中心にソフトアルコール飲料が好調に推移したことから、売上高は前期比1.7%の増収、営業利益は前期比6.8%の増益となりました。

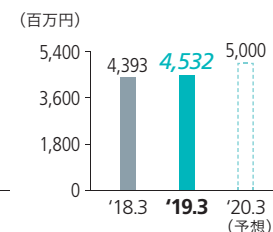


宝酒造インターナショナルグループ

売上高



営業利益

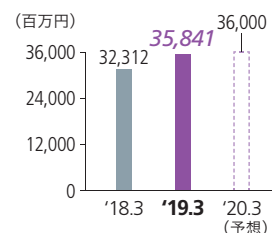


海外酒類事業、海外日本食材卸事業がともに好調に推移したことから、売上高は前期比10.1%の増収となり、販売費及び一般管理費において運送費や人件費などが増加したものの、営業利益は前期比3.2%の増益となりました。

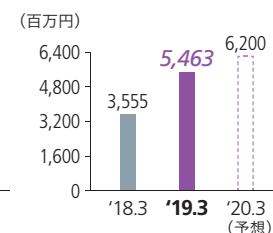


タカラバイオグループ

売上高



営業利益



研究用試薬および受託サービスが好調に推移したほか、遺伝子治療薬に関する共同開発・独占販売契約の対価料を計上したことなどにより、売上高は前期比10.9%の増収、営業利益は前期比53.7%の大幅な増益となりました。

会社概要

商号	宝ホールディングス株式会社 (英文表記: TAKARA HOLDINGS INC.)
本店所在地	京都市下京区四条通烏丸東入長刀鉾町20番地 TEL 075-241-5130
設立	1925年(大正14年)9月6日
資本金	132億2,621万5,144円
従業員数	183名(グループ連結: 4,493名)
連結対象会社	58社

取締役および監査役 (2019年6月27日現在)

代表取締役会長	大宮 久
代表取締役社長	木村 睦
取締役	仲尾 功一
取締役	村田 謙二
取締役	高橋 秀夫
取締役	森 圭助
取締役(社外取締役)	吉田 寿彦
取締役(社外取締役)	友常 理子
取締役(社外取締役)	川上 智子
常勤監査役	渡邊 西造
常勤監査役(社外監査役)	山中 俊人
常勤監査役(社外監査役)	三枝 智之
常勤監査役	鷲野 稔
監査役(社外監査役)	北井 久美子

株式の状況

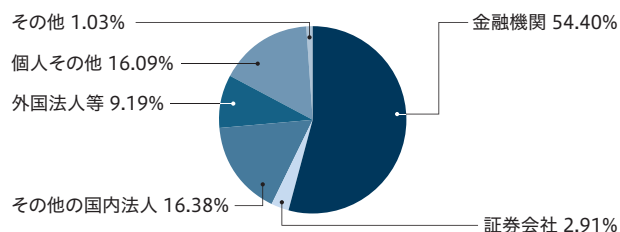
発行可能株式総数	870,000,000株
発行済株式総数	201,699,743株
株主数	25,334名

大株主(上位10名)

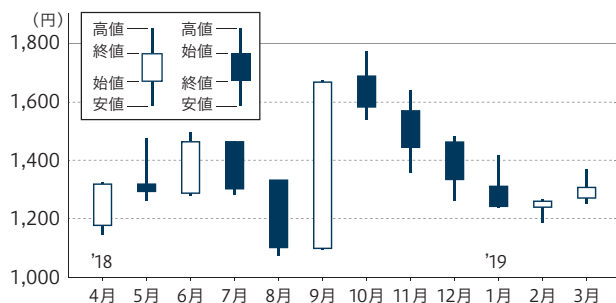
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	28,065	14.06
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	19,395	9.72
株式会社みずほ銀行	9,738	4.88
農林中央金庫	9,500	4.76
明治安田生命保険相互会社	5,370	2.69
株式会社京都銀行	5,000	2.50
国分グループ本社株式会社	3,489	1.75
宝グループ社員持株会	3,067	1.54
資産管理サービス信託銀行株式会社 (証券投資信託口)	3,049	1.53
日本アルコール販売株式会社	3,000	1.50

(注) 1. 持株数の千株未満は切り捨てております。
2. 持株比率は、自己株式(2,069千株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



株価の推移



CSR NEWS

「エコマークアワード2018」で 宝酒造の環境活動が最高賞の 「最優秀賞」を受賞

宝酒造の環境活動が、「エコマークアワード2018」(公益財団法人日本環境協会主催)において最高賞の「最優秀賞」を受賞しました。

「エコマークアワード」は日本環境協会が2010年に創設した表彰制度で、「消費者の環境を意識した商品選択、企業の環境改善努力による、持続可能な社会の形成」に向けて積極的に活動する企業・団体を表彰するものです。

宝酒造では、エコマーク認定の超軽量びんの導入をはじめ、容器包装の3R(リデュース・リユース・リサイクル)に取り組んでいます。さらに、独自の取り組みとして、酒類の量り売りを全国で展開しています。これらごみ問題への継続的な取り組みや、地域の小学生を対象とした環境教育などの活動が総合的に評価され、受賞に至りました。

今後も環境活動を積極的に推進するとともに、活動内容の一層の充実を図っていきます。



表彰式の様子

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	● 定時株主総会（議決権行使）、期末配当 毎年3月31日 ● その他必要があるときは、あらかじめ公告 して基準日を定めます。
単元株式数	100株
上場取引所	東証1部
証券コード	2531

公告方法	電子公告により、当社ウェブサイトに掲載します。 (https://www.takara.co.jp) ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、京都新聞および日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
株式に関するお問合せ先	以下の表をご覧ください。

主なお手続、ご照会内容	お問合せ先
住所・氏名等のご変更 口座の残高照会 配当金の受取方法の指定	口座を開設されている証券会社等 (注) 特別口座に記録されている株式については、下記のみずほ信託銀行 証券代行部まで お問合せください。
未払配当金に関するご照会 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 特別口座から一般口座への株式の振替手続 その他株式事務に関する一般的なお問合せ	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話番号(フリーダイヤル): 0120-288-324(土日・祝日を除く平日9時～17時)

特別口座で株式を保有されている方へ

特別口座に記録されている株式は、株式市場での売買はできません。株式市場における株式売買のためには、証券会社にお取引口座を開設し、みずほ信託銀行の特別口座からの株式の振替手続が必要となります。

単元未満株式を保有されている方へ

単元未満株式(100株未満株式)をお持ちの場合、会社に対して、次の請求を行うことができます。

1. 単元未満株式の買取りを請求する(買取請求)
2. 単元株式(100株)にするため、不足する株数の株式の売渡しを請求する(買増請求)

お問合せ先

証券会社の口座で管理されている単元未満株式
▶ 口座を開設されている証券会社
特別口座で管理されている単元未満株式
▶ みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

(注) この報告書に記載されている業績予想等の将来に関する事項は、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいていますが、実際の業績等は、予期しない経済状況の変化をはじめさまざまな要因により、大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。



見やすいユニバーサル
デザインフォントを採用
しています。



この印刷物は、環境に配慮した植物油インキと、適切に管理されたFSC®認証林からの原材料および再生資源から作られた紙を使用して制作されています。

株主優待制度のご案内

当社は、毎年3月31日現在の株主名簿に記録された、当社株式100株以上を所有されている株主様を対象とした株主優待制度を実施しています。

● 優待内容(2019年3月期)

当社株式の所有数に応じて以下の優待品を贈呈いたします。

100株以上1,000株未満	1,000円相当	左記金額相当の酒類詰め合わせ、調味料詰め合わせより1点選択(優待品に代えて社会貢献活動への寄付も選択可)
1,000株以上	3,000円相当	



1,000株以上 3,000円相当の「酒類」詰め合わせ



1,000株以上 3,000円相当の「調味料」詰め合わせ

● お申込みについて

2019年6月上旬にご送付しております当社第108回定時株主総会招集ご通知に同封のお申込書に必要事項をご記入の上、ご投函ください。

お申込み期限: 2019年7月31日(水)消印有効

まだお申込みでない方はお早めにお申込みください。

ウェブサイトのご案内

宝ホールディングスのウェブサイトでは、ニュースリリースやIR情報など、最新の情報を掲載しています。また、グループ各社のウェブサイトでは、商品や事業の詳しい情報をご覧いただけるほか、オンラインショップもご利用いただけます。

www.takara.co.jp